第 13 回

2023. 6. 28

MaSC 技術交流会 “Real Exchange”

2023 年6月28日(水)「第 13 回 MaSC 技術交流会“Real Exchange”」を開催しました。テーマは**「食料を見極め未知の魅力を引き出す先端フードテクノロジー」**です。

今回は、エネルギーと食の安全保障に資する自律分散エコシステム構築の一環として、農学と工学の連携による先端フードテクノロジーを駆使して、食料のポテンシャルを見極め、未知の魅力と付加価値を引き出すと共に、これらのテクノロジーを結集したグリーンバリューチェーンを考える会としました。

三年半ぶりの対面開催となり、学内外から約 50 名の皆様にご参加いただき、大変活発な交流～意見交換をいただきました。

プログラム

◆開会の挨拶 / 東北大学 産学連携機構 企画戦略部長 佐藤準

◆「放射光とクライオ電顕を用いた日本酒の美味しさの見える化」 / 東北大学 農学研究科 原田昌彦 教授

◆「超臨界抽出法と亜臨界分離法－果皮の有効利用を例に－」 / 東北大学 工学研究科 大田昌樹 准教授

◆「100MHz 電磁波を用いる高品質スマート解凍」 / 株式会社スマートハンドレッド 代表取締役
東北大学農学研究科名誉教授 佐藤實 様

◆「トミタテクノロジーのスマート農業支援」 / トミタテクノロジー株式会社 代表取締役社長 富田啓明 様

◆「太陽光蓄熱システムを用いた農業ハウス」 / 東北大学 多元物質科学研究所 丸岡伸洋 助教

◆パネルディスカッション
モデレータ:多喜義彦 様 / システム・インテグレーション株式会社代表(東北大学特任教授)
パネリスト:講演者の皆様に加えて 深松努 様 / 株式会社深松組 代表取締役
浅野将希 様 / 株式会社 SEE THE SUN 執行役員

◆閉会の挨拶 / 東北大学 多元物質科学研究所 助教 丸岡伸洋

講演会終了後、コロナ禍以降初めての意見交換会を開催しました。MaSC 中庭での開催を予定していましたが、雨天のため急遽セリシィールのベランダを開放しての実施となりました。講演の部と同様、活発に意見が交わされ盛況のうちに閉会となりました。

主催:東北大学産学連携先端材料研究開発センター、産学連携機構
共催:ソフトマテリアル研究拠点

Photo

▲佐藤準　企画戦略部長

▼原田昌彦　教授

▲大田昌樹 准教授

▲　富田啓明 様

▼丸岡伸洋　助教

▲　佐藤實 名誉教授

▲　深松努　様

◀　多喜義彦　様

▼　浅野将希　様